



平成22年10月29日

香川大学における男女共同参画への取り組みについて

本学が、国の平成22年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」プログラムに応募しておりました事業プラン『香大発、地域ぐるみ女性研究者支援の高波を』が採択され、この度、当事業を推進していくために学内に「男女共同参画推進委員会」及び「男女共同参画推進室」を設置しました。

本事業を通して、本学はもとより県内の他の大学、研究機関、行政との連携を図り、地域の女性研究者がその能力を最大限発揮できる環境づくりにも貢献してまいります。

1. 科学技術振興調整費について

科学技術振興調整費は、総合科学技術会議の方針に沿って文科省が運用を行う競争的研究資金です。「女性研究者支援モデル育成」は、そのプログラムの一つであり、平成22年度は19件の応募に対して10件が採択されています。(参考資料1)

2. 「香大発、地域ぐるみ女性研究者支援の高波を」について

本学の事業プランである「香大発、地域ぐるみ女性研究者支援の高波を」は、事業期間を平成22年度～24年度の3カ年とし、以下の事業に取り組む予定です。また、本事業推進のためのコーディネーターとして、元岡山市男女共同参画相談支援センター相談員の長安めぐみ氏を任命(特任教授)しました。(参考資料2)

<事業の目標>

学内女性研究者の比率を本事業終了時点で19%以上とする。(2009年度:17.1%)

自然科学系大学院(医・農・工研究科)の女子学生の比率を25%以上とする。(2009年度:23.9%)

科学研究費補助金に自然科学系女性研究員が全員応募するとともに、採択率が全国平均となるようにする。(2009年度:全国平均22.0%)

事業終了時、育児等を行う女性研究者への満足度調査で8割以上から良好な回答を得る。

<事業の内容>

学内の女性研究者のための支援体制・組織を整備する。

研究と出産・育児等の両立の支援など、女性研究者の負担軽減をはかる。

女性研究者支援に対する学内の意識醸成と研究者を目指す女性の拡大をはかる。

県内他大学や研究機関と連携して、地域ぐるみの女性研究者支援の機運を高める。

本事業の実施により、本学はもとより県内の他大学や研究機関との連携をとおして県内の女性研究者の増加、研究水準、内容の向上にも貢献してまいりたいと考えています。さらには、四国内の大学等とも連携して四国全体の女性研究者の研究環境の充実に貢献してまいります。

3. 男女共同参画推進に向けての基本理念・基本方針の決定等

本学では10月18日に第一回男女共同参画推進委員会を開催して、男女共同参画推進に向けての基本理念・基本方針を決定するとともに、育児等に取り組む教職員の負担軽減のための申し合わせを行いました。(参考資料3、4、5)

4. その他の取り組み

本学は、既に「次世代認定マーク『くるみん』」を取得して、育児休業や短時間勤務制度の充実、保育園の設置など職員が働きやすい環境づくりを推進しています。『くるみん』は、次世代育成支援対策法に基づき、一定要件を満たす事業主に対して都道府県労働局長が認定する制度です。

(参考資料6)

以上



➤ 問い合わせ先

香川大学 男女共同参画推進室

特任教授 長安めぐみ

TEL : 087-832-1055 FAX : 087-832-1057

E-mail : sankaku@ao.kagawa-u.ac.jp

発表事項 1 < 参考資料 1 >

1. 平成 22 年度科学技術振興調整費採択状況

プログラム名	提案件数	採択件数
社会システム改革と研究開発の一体的推進プログラム		
気候変動に対応した新たな社会の創出に向けた社会システムの改革プログラム	40	4
健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム	25	6
安全・安新な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム	35	9
若手研究者の養成システム改革		
若手研究者の自立的な研究環境整備促進	15	6
イノベーション創出若手研究人材養成	13	6
女性研究者支援システム改革		
女性研究者支援モデル育成	19	10
女性研究者養成システム改革加速	15	7
地域再生人材創出拠点の形成	34	6
アジア・アフリカ科学技術協力の戦略的推進		
戦略的環境リサーチ育成拠点形成	13	5
国際共同研究の推進	93	14
合 計	302	73

(採択通知日：平成 22 年 5 月 21 日)

2. 女性研究者支援モデル育成採択状況

女性研究者支援モデル育成は、女性研究者がその能力を最大限発揮できるようにするため、大学や公的研究機関を対象として、研究環境の整備や意識改革など、女性研究者が研究と出産・育児等の両立や、その能力を十分に発揮しつつ研究活動を行える仕組み等を構築するモデルとなる優れた取り組みを支援するものです。

提案課題名	機関名
つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才	弘前大学
共生の時代を拓く、いわて女性研究者支援	岩手大学
多様性活力発揮に向けての女性研究者支援	岐阜大学
しなやか女性医学研究者支援みやこモデル	京都府立医科大学
元気！生き生き女性研究者・公立大学モデル	大阪府立大学
Mastery for Service に基づく女性研究者支援	関西学院大学
徳島大学 AWA(OUR) サポートシステム	徳島大学
香大発、地域ぐるみ女性研究者支援の高波を	香川大学
愛媛大学「坂の上の雲」女性研究者育成プラン	愛媛大学
地域社会で育む『輝く女性研究者』支援	大分大学

発表事項1＜参考資料2＞

香大発、地域ぐるみ女性研究者支援の高波を —実施内容—

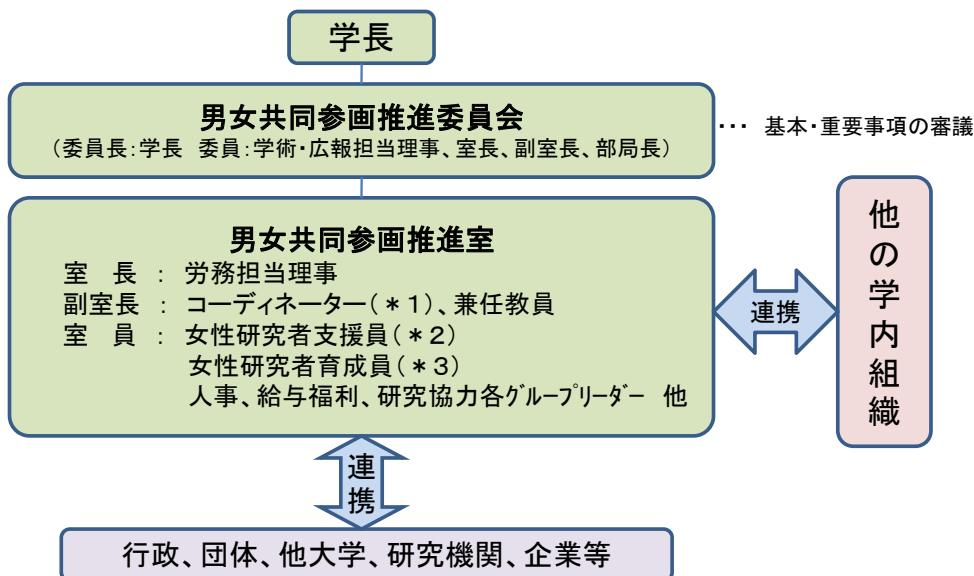
達成目標

- ① 学内女性研究者の比率を本事業終了時点で19%以上とする。(平成21年度:17% 117/688人)
- ② 自然科学系大学院の女子学生の比率を25%以上とする。(平成21年度:24% 128/535人)
- ③ 科学研究費補助金に自然科学系女性研究員が全員応募するとともに、採択率が全国平均となるようにする。
- ④ 事業終了時の育児等を行う女性研究者への支援満足度調査において、8割以上から良好との回答を得る。

本事業での取り組み

- (1) 学内の女性研究者のための支援体制・組織の整備
 - ・ 学長の下に全学的な体制を構築する。
 - ・ 学外の行政、機関、団体、大学等とネットワークを構築する。
- (2) 研究と出産・育児等の両立の支援など、女性研究者に負担がかかりがちな要因の軽減
 - ・ 各種情報の提供
 - ・ 地域資源を活かした保育・託児の場の確保
 - ・ 相談体制の整備
 - ・ 女性研究者の研究活動支援
- (3) 女性研究者支援に対する学内の意識の醸成と研究者を目指す女性の拡大
 - ・ 学内教職員の意識改革・啓発活動
 - ・ 学内教職員の意識改革・啓発活動
 - ・ 未来の女性研究者の育成・確保
 - ・ 大学役員等と女性研究者の意見交換会開催
 - ・ 女子学生への説明・交流会開催 等
- (4) 他大学や研究機関との連携
 - ・ 県内他大学等とのネットワークづくり、シンポジウムの開催

男女共同参画推進体制



- (* 1) コーディネーター : 女性研究者に対するワンストップサービスとして、次の業務を行う。
- ① 出産、育児、介護、研究活動等に関する相談・支援
 - ② 地域における保育関係機関の情報収集、女性研究者への情報提供
 - ③ 学内外とのネットワークづくり
 - ④ 女性研究者の交流会、高等学校等への説明会開催
 - ⑤ 女性研究者同士の共同研究のマッチング
- (* 2) 女性研究者支援員 : 大学本部と各部局との女性研究者にかかる連絡、情報提供、女性研究者の意見の取りまとめ、相談業務を行う。
- (* 3) 女性研究者育成員 : 部局の女子学生に対して、研究活動、キャリアパス等の相談、各種イベントの開催を行う。

男女共同参画推進に向けての基本理念・基本方針

国立大学法人香川大学

平成22年10月18日制定

「基本理念」

我が国における男女共同参画の推進は、男女共同参画社会基本法(平成11年6月制定)に謳われた「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる」社会の実現を目指している。

香川大学は、男女共同参画を積極的に推進し、すべての構成員が多様性を認め、支えあい、性別を問わず各自の能力等を十分に発揮できる環境を整備するとともに、地域の男女共同参画の取組への波及を図ることにより、「香川大学憲章」に基づいて、「地域の知の拠点」としてのさらなる飛躍をめざすものである。

「基本方針」

- 1 男女共同参画に向けて、地域と協働し学内外の意識の醸成を推進する。
- 2 専門分野における学部・大学院の女子学生、女性研究者の育成を積極的に行う。
- 3 男女共同参画を阻害する要因の見直しと除去に取り組む。
- 4 各ライフステージにおける修学・就業と妊娠・出産・育児・介護などとの両立支援を図る。
- 5 教育研究等の充実を目指しつつ、ワークライフバランスに配慮した雇用環境を整備する。

発表事項 1 <参考資料 4 >

優秀な女性研究者を確保、増加させるために 各部局の教員公募で取り組んでいく事項について

香川大学男女共同参画推進委員会
平成 22 年 10 月 18 日

教員公募に際して、全国から女性研究者の応募を促進し、優秀な女性研究者を確保、増加させていくために、本学では下記を教員公募要領に明記していくこととする。

○ 香川大学は男女共同参画を積極的に推進しており、選考にあたって業績（教育業績、研究業績等）及び人物の評価等において同等と認められる場合は、各学部等のジェンダーバランスに配慮して採用します。

発表事項 1 <参考資料 5 >

本学教職員が教育・研究等と育児等を 両立させていくための配慮について

香川大学男女共同参画推進委員会
平成 22 年 10 月 18 日

香川大学では男女共同参画推進の基本方針に基づき、教職員が教育・研究等と育児等(介護も含む)を両立させていくために、本学では、下記の事項に関して配慮していくこととする。

○ 勤務への配慮

- ① 本部、部局等が開催する会議で育児等に取り組む教職員が参画するものについて、夕方 17 : 30 以降はできるだけ開催しないこと。
- ② 育児等に取り組む教職員より申し出があった場合には、教育・研究活動以外の業務負担の軽減に努めること。
- ③ 育児等に取り組む教職員がやむを得ない事情により会議の欠席・早退・遅刻、業務の代替等を求める場合にはできる限りの配慮を行うこと。(授業・会議の時間帯調整、代理出席の配慮、出席を強制しないなど)

発表事項 1 < 参考資料 6 >

次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業 香川県内第9号 (平成22年4月15日認定決定)

国立大学法人 香川大学(高松市)



次世代認定マーク「くるみん」

次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合に、都道府県労働局長の認定を受けることができます。

認定を受けると、「くるみん」マークを商品、求人広告、名刺などにつけることができます。

このマークにより「子育てサポート企業」であることを広くアピールすることができ、企業のイメージアップや優秀な人材の確保などが期待できます。

計画期間中の主な取組

◇労働者数 2,366人(うち女性1,188人) ◇計画期間 平成19年4月1日から平成22年3月31日(2期目)

[育児休業、育児短時間勤務制度等]

子どもが3歳までの育児休業、小学校就学前までの短時間勤務(1日2時間の短縮)、フレックスタイム及び早出遅出勤務等、多様な制度を実施しています。

[育児休業等の利用促進]

男性を含めた職員の利用促進を図るため、出産・育児支援制度のパンフレット等を作成し職員に周知するとともに、管理者に対し業務の合理化や応援体制の確立を促し、利用しやすい職場環境の整備を図っています。

[いちご保育園の設置]

事業所内に保育施設を設置し、小学校就学前までの子どもを対象に、基本保育(1日11時間)、延長保育及び24時間保育を実施しています。

[所定外労働の削減]

ノー残業デーを設定し、ポスター等により職員に周知するとともに、実施状況を把握し、管理者に対し削減を促しています。

[年次有給休暇の取得促進]

休暇制度のパンフレット等を作成し職員に周知するとともに、休暇計画表を各部署に配付し、月1日以上取得を勧奨しています。

[育児休業の取得状況]

計画期間中に、女性117人(取得率89%)、男性1人が育児休業を取得しました。

企業からひとこと

本学は、次世代を送り出す教育機関としてその育成支援に積極的に取り組むとともに、すべての職員がその能力を十分に発揮できるよう、これからも働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。



いちご保育園

一般事業主行動計画の取組・認定申請等については、

香川労働局雇用均等室(TEL087-811-8924)